

子育てサークル結成!

本会が3月に開催した「子育て親育ち講座」の受講者の皆さまが、子育てサークル「7(なな)いろ会」を結成されました。サークル名は、メンバーの人数と虹の七色に着想を得て命名されました。本サークルは、定期的な情報交換やレクリエーション等を予定されています。



【お問い合わせ】地域福祉課
TEL.932-1961

くらしの資金(夏期)のお知らせ

疾病や失業等により、一時的にお金のやりくりが困ったり、緊急に資金を必要とする世帯のために「くらしの資金」の相談を受けます。

【受付期間】
7月3日(月)～7月14日(金) ◎要予約
9:00～16:00(土・日・祝日を除く)

【貸付限度額】
1世帯あたり10万円以内

【お問い合わせ】地域福祉課
TEL.932-1961

音訳ボランティア養成講座のご案内

この講座では視覚による情報取得が困難な人々へ、文字情報等を音声で届けるための音訳技術の基本を学びます。

- 日時 7月21日、28日(いずれも金曜日、午前10時～正午)
- 場所 向日市福祉会館(3階)研修室
- 対象 向日市在住または在勤・在学の方
- 定員 15名程度
- 内容 音訳の技術講習(全2回)
- 講師 フリーアナウンサー

音訳指導者
安田知博



講師は先天性の視覚障害者で、NHK・Eテレなどで解説放送のナレーターを務める一方、音訳ボランティアの養成や高校放送部の指導などにあたっている。

送迎ドライバーを募集します!
充実した新人研修で安心のスタート!

- 仕事 デイサービスセンターでの要介護高齢者の送迎業務
 - ・福祉車両(乗降リフト付A T車)の運転
 - ・乗降時の介助
- 時間 朝8:20～、夕16:30～(1日実働3時間程度)
 - ※朝夕で勤務可能な方
 - ※土曜日も出勤できる方
 - ※週4日程度

- 資格 普通自動車免許
- 時給 1,100円～
- 応募 まずはお気軽にお電話ください。

【お問い合わせ】デイサービスセンター
TEL.931-3294

介護スタッフを募集します!
高齢者を支えるやりがいのあるお仕事!
私たちと一緒に始めてみませんか…

- 仕事 要介護高齢者の入浴・食事・排泄等の介助、送迎車添乗、食事準備、レクリエーションの企画・進行、記録、等)
- 時間 8:30～18:15の間で本会が指定する時間 午後以降勤務歓迎
- 資格 無資格、未経験OK
 - ◎資格取得支援制度あり
- 時給 1,000円～
- 応募 まずはお気軽にお電話ください。見学のみも大歓迎です。

【お問い合わせ】デイサービスセンター
TEL.931-3294

ホームヘルパー募集

- 仕事 掃除、洗濯、調理、買物や食事、排泄、入浴等の介助
- 資格 介護職員初任者研修修了者(旧ホームヘルパー2級)・介護福祉士等

※無資格の方はご相談ください。
●勤務場所：向日市
●勤務時間：午前7時～午後10時で応相談
●時間給：1,500円～1,950円(介護職員処遇改善加算含)
※勤務時間帯、曜日、経験年数により異なる。各種諸手当あり
※その他：有給取得率80%、職場満足度88%(H29.2ヘルパー向けアンケートより)、離職者H28年度1名

【お問い合わせ】ホームヘルプセンター
TEL.932-1968

善意のご寄付
ありがとうございました

(平成29年2月14日～平成29年5月22日)

シンポクラブ	100,000円
乙訓明るい社会づくり運動の会	10,000円
京滋ヤクルト販売株式会社	100,000円
イオンリテール株式会社	33,100円
京都府グランドゴルフ協会 山城北ブロック	2,176円
匿名	1,000円

ボランティア募金箱設置協力店

中国料理ほあんほあん/タックメイト
万源/キッチンロー/野村龍酒店/
洛園/オカダ酒店/ライフシティ東向日/
向陽ゴルフセンター/なかの食品/
はなこ/神崎屋/京都トヨタ自動車
(株)桂川洛西店/カレー工房ギャー

15,533円の募金が集まりました。ありがとうございました。

7つのまちがい探し

「ももたろう」

昔話・寓話のももたろうには猿と犬と雉が登場します。落語「桃太郎」では、猿は智恵を、犬は仁義を、雉は勇気を表していて、人間に必要な三つの徳を示しているのだそうです。



*応募方法

はがき又はFAXに、①回答②氏名③住所④年齢⑤今回で特に関心があった記事(複数回答可)⑥「福祉パレット」を読まれた感想を書いてお送りください。正解者の中から抽選で5名に図書カードをプレゼントします。

*締め切り 平成29年8月4日(金)まで必着

*送り先 〒617-0002
向日市寺戸町西野辺1-7
向日市福祉会館内 総務課
FAX.933-4425

平成29年3月号の答え「プレーメンのおんがたい」
①音符のぼうの長さ②ニワトリのとさかの数③ニワトリのペルの玉の大きさ④イヌの口があいてるか閉じてるか⑤ネコのしっぽの長さ⑥ロバの前足の向き⑦家の煙突の有無

福祉パレット

ご近所福祉のまち 向日市をめざして

広げよう! 助け合いの街づくり

このたび、社協では「住民の相互理解」と「支え合いによる福祉」を高めることを目的とする「第3次地域福祉活動計画」を策定しました。昨今、自治会や有志による団体の「ご近所福祉」を推進する地域が増え、住民の居場所・地域づくりが進んでいます。誰もが住みよい街を目指し、一緒に行動しましょう。関心のある方は配布の普及版をご覧ください、ぜひ社協までご連絡ください!



ラジオ体操(ハノ坪)



かまどベンチ(上植野自主防災会)



災害時の避難訓練(大牧自治会)



サロンばあーじー(落堀)



認知症サポーター講座(東物集女)



登校見守り(西向日)



上植野手話サークル あすなる



点訳サークル きつつき



向日市要約筆記サークル フレンド

共に生きる 社会へ

平成28年4月、障がい者差別のない社会の実現を目指す法律「障害者差別解消法」が施行されました。駅など公共機関では案内板の工夫や声掛けなど、合理的配慮の提供が進みつつあります。今回は、社協のボランティアセンターに登録する、聴覚や視覚に障がいを持つ人を支援する3つの団体をご紹介します。どのような関わりができるのか、一人ひとりが障がいについて理解を深めるきっかけにしてください。



障害者差別 解消法って？

障がいのある人もない人も、お互いにその人らしさを認め合い、交流し、支え合いながら共に生きる社会、誰もが安心して暮らせる社会を目指す法律です。行政機関などや民間事業者に対し、「不当な差別的取り扱いの禁止」「合理的配慮の提供」を求めています。

上植野手話サークル あすなる

手話の普及と聴覚障がい者への理解促進を目指し、学校や企業での出前講座を行っています。「手話は言語です」と話す代表の岩田さんは、「まずろう者と交流して、自分の想いを伝えたいと思う気持ちが、心のバリアを取っ払うきっかけになるのでは」。大寿堂さんは学校での出前講座の後、偶然街で出会った生徒たちに、「こんにちは」とあいさつされ、喜びと同時に活動の重要性を感じたそうです。実は手話にも「方言」があり、標準手話と京都で使われる手話で異なるものがあるのだそう。また「スマホ」や「ワイファイ」のような新しい手話も多く、私たちも学んでいるのよ」と、吉本さんが教えてくれました。最近では、大寿堂さんや吉本さんの馴染みのスーパーなどでは店員が手話を覚え、使ってくれるようになったとか。また、町の中にも「見て」わかる情報が増えてきたといい、大寿堂さんは「2020年には東京五輪・パラリンピックも開催されるし、手話がより多くの人に知ってもらえるよう期待しています」と笑顔を見せてくれました。

代表
岩田 紀子さん(左)
大寿堂 良美さん(中)
吉本 久枝さん(右)



点訳サークル きつつき

「きつつき」では、点訳による情報提供活動として、本冊子『福祉パレット』の点訳、点字図書館からの書物リストの点訳、カレンダーに点字をつけたりしています。近年、シャンプーの容器などにはユニバーサルデザインが取り入れられるようになりましたが、その形状は統一されておらず、「身近なレトルトパックなどの食品にも点字があるといいですね。災害時にも役立ちますから」と北野さん。また、中途視覚障がいの木村さんは、安全のためキッチンコンロをガスからIHに変えた際、「全部がツルツルで、点字シールを貼るまではタッチ式の表示が使えなかった」という苦労もあったそうで、一般生活用品の点字併記の推進を訴えます。一方、障害者差別解消法の施行をきっかけに、駅などの公共機関では点字案内の箇所が増え、また駅員さんや市民が声をかけてくれる機会が増えたといいます。木村さんは「とてもありがたいこと。これからも、点字を言語の文化として広めていけたら」と語っています。

代表
北野 節子さん(右)
木村 啓子さん(左)



向日市要約筆記サークル フレンド

難聴者など聴覚障がい者に対して、話し手の言葉をその場で文字にして伝えるのが「要約筆記」です。表示方法は紙やホワイトボードに書き込むノートテイクや室内でスクリーンに映し出すOHCなどがあります。要約筆記者は話の内容を「速く」「正しく」「読みやすく」書き取るため、「法律や社会福祉、耳の構造といった幅広い知識が必要」と、要約筆記者の佐野さんは言います。実は、手話ができる難聴者の数は多くなく、障がいが見た目で分かりにくいことから、もっとも理解されにくい障がいのひとつと言われます。そのため、難聴者が外出する際は要約筆記者が同行することもあるそうです。一方、先人たちの情報発信の努力もあり、耳が不自由な人のシンボル「耳マーク」は銀行や病院、郵便局、駅などで見かけるようになりました。「最近は電車内では声のアナウンスだけでなく、案内表示装置が増えて利用しやすくなるなど、変化も感じます」と太田さん。代表の加藤さんも「より良い社会になるよう私たちも見守っていきたい」と話しています。

代表
加藤 恵美さん(左)
太田 ヒサさん(中)
(向日市難聴者協会)
要約筆記者
佐野 とし子さん(右)



アンケートのご協力、
ありがとうございました！

『イクメンチェックリスト』 集計結果からみるパパの子育て意識

今年1月、父親の社会参加と相互交流を目的としたイベント「イクメンGO」を開きました。会場では、子育て中の母親が監修した「イクメンチェックリスト」を使ったアンケートを実施し、144人の父親から回答を得ました。その結果からは、父親の育児や家事に対する意識の高さがうかがえました。



アンケートは、家族の年齢などの基本情報に加え、育児に関する10の設問を設けました。特徴は、たとえば沐浴や入浴に関する設問の場合、「準備」「世話」「後片付け」を「2つ以上担っている」「1つ以上担っており、2つ以上できる」といった具合にチェック項目を細分化したことです。それにより、「子どもを風呂に入れてはいたけれど、考えてみれば子どもの服を脱がしたり、身体を拭いたりといった世話は妻がやっていた。妻がおぜん立てしてくれていたことが分かった」という、「気づき」を感じた人が多かったようです。



“大変なのはお風呂前後の支度” だと気付いた

アンケートは、家族の年齢などの基本情報に加え、育児に関する10の設問を設けました。特徴は、たとえば沐浴や入浴に関する設問の場合、「準備」「世話」「後片付け」を「2つ以上担っている」「1つ以上担っており、2つ以上できる」といった具合にチェック項目を細分化したことです。それにより、「子どもを風呂に入れてはいたけれど、考えてみれば子どもの服を脱がしたり、身体を拭いたりといった世話は妻がやっていた。妻がおぜん立てしてくれていたことが分かった」という、「気づき」を感じた人が多かったようです。



父親の子育てにとって 大切な要素とは？

世帯構成は「共働き世帯」が半数を超えましたが、合計点数については配偶者の就労状況による影響が少なく、家事の「役割分担」や「妻への気配り・感謝」ができていた父親が高得点をつける傾向がありました。これは、家族と十分にコミュニケーションが取れているほど育児に協力していたことを表す結果といえます。また、世代別にみると40代が高得点だった一方で、育児期間の短い2歳以下の子ども（とくに第一子）を育てる父親については、「寝かしつけ」や「外出・留守番」などに課題が見られ、支援を必要とする子育ての時期を把握することができました。

「今回の結果が、夫婦また家族間でコミュニケーションの在り方を考えるきっかけになれば」と社協職員は語ります。また、子どもの年齢が小さいほど課題が多くなる傾向が分かったことから、今回は低年齢の子どもに焦点を当て、父親の子育て生活を応援する事業「イクメンLIFE」の開催を予定しています。

※本調査は父親を評価するためのものではありません